

生活学習指導案

指導者 熊野町立熊野第三小学校 教諭 下向井 理世美

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 30 日 (木) 2 校時
- 2 学年・学級 第 2 学年 2 組 27 名
- 3 単 元 名 おもちゃフェスティバルを開こう
- 4 単元について

【児童の実態】

1 年生では自然物や校庭の草花や石などを使って遊びをつくり出し、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができた。遊びを繰り返すことで、「もっとたくさん集めて大きくしたい」と工夫したり、友だちの作品の工夫を自分の作品に取り入れたりしながら、自分のつくったものを改良する楽しさも味わっている。

(省略)

【単元観】

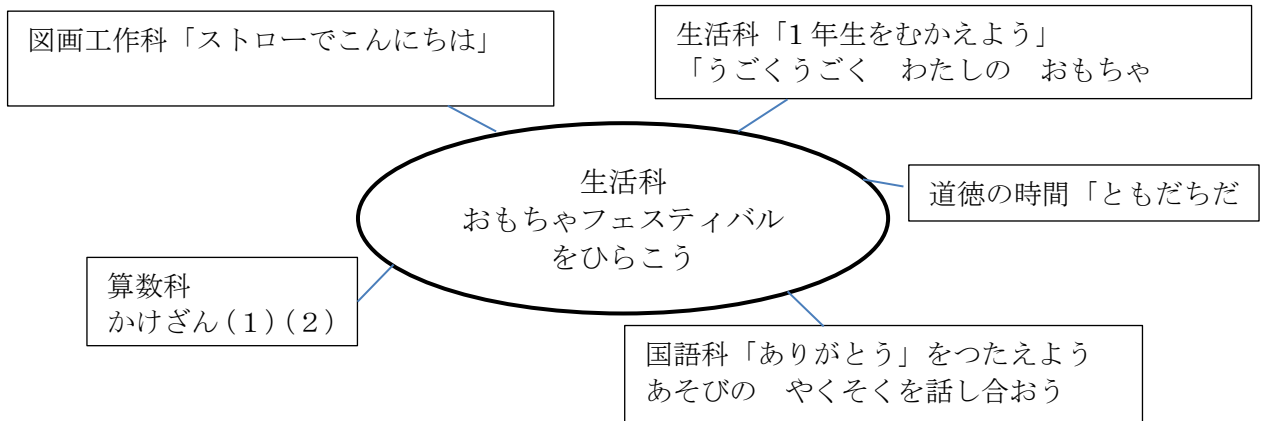
「遊び」の活動は児童にとって魅力的であり、自分たちで遊びをつくりだす喜びを味わうことができる。また、おもちゃづくりに没頭することで、自然の不思議さや遊びの楽しさについての気付きを多く得ることができる。新たな発見や友だちのおもちゃを見て感じた気付きは、身近な人に伝えたいという意欲を高め、交流する活動が生まれてくる。その自由な伝え合いから生まれた新たな思いや願いから、おもちゃ改良のために試行錯誤を重ねたり、遊びやルールを工夫したりすることで、みんなで遊びを楽しむことができるであろう。「おもちゃフェスティバル」の計画を自分たちがつくったおもちゃを使って、遊び方やルールを工夫しながらみんなで遊び、その楽しさに気付くとともに、みんなで楽しく遊ぶことができたり、1年生を招待することで、1年生に対する思いやりのある行動をとることができたりすることで、自分たちの良さに築くことができるようになるであろうと考える。

【指導の手立て】

指導に当たっては、遊ぶことの楽しさを再確認させ、さらに、より楽しく遊ぶために、教師が提示したおもちゃを、自分で工夫したくなるように仕向け、工夫改善させていきたい。

次に、「おもちゃフェスティバル」を開こうというテーマに基づき、誰を招待するか、どのような計画を立てれば良いかグループで考えさせたい。一人一人が自分の考えをもつことができるように、分かっていることを整理したり、例を出したりしながら、進めていきたい。個人思考では、付箋に書き、グループ内で発表する手段として活用させたい。そして、主な活動計画を共有する中で、共通している項目を、教師と共にグルーピングし、思考の整理をし、その計画に沿って、「おもちゃフェスティバル」を計画し、実行することで、自分たちで最後までやり遂げ、活動を通し、友だちや自分の良さに気付かせていきたい。

5 単元の構成



6 単元の目標

○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくり、友だちと協力したり、工夫を教え合ったりしながら、みんなで遊び、楽しむことができる。

7 単元の評価規準

評価の観点	学習方法に関すること		自分自身に関すること	他者や社会に関すること
	分かるできる力	表現力	向上心	思いやり
単元の評価規準	① 動くおもちゃの作り方を理解している。 ② 1年生に楽しんでもらうために、誰に何を聞けばよいか理解している。	① 自分の考えを書く。 ② おもちゃコーナーで相手にルールや方法を分かりやすく伝えている。	① 自分がつくったおもちゃを工夫しようとしている。 ② 自分や友だち成長した点を見つける。	① 遊び方やルールを工夫しながらみんなで遊び、その楽しさに気付いている。 ② 友だちの良さに気付いている。 ③ 自分と異なる意見を受け入れながら話し合っている。

8 学習内容と評価の計画

(全16時間)

次	学習内容 (時数)	評価規準 (評価方法)	教科との関連
一 課題設定	○教師の作ったおもちゃで遊ぶ。(1) ○おもちゃづくりに必要な材料を見つける。(1) ・どのような会にしたいか話し合い、理由も考える。 ○自分のおもちゃを工夫改善する。(1) ○自分でおもちゃをつくり、友達と一緒に遊ぶ。(3)	・身近な材料を使い、興味関心を持ち、動くおもちゃをつくらうとしている。【向①】 (ワークシート・発言・行動観察) ・【思①】 ・どのような会にしたいか、進んで話し合おうとしている。【向①】 (行動観察・ワークシート) ・自ら課題を見付け、解決しようと	生活科「おしえてあげるね わたしの学校」 図画工作科「だんだんだんボール」

		している。【向】 (発言・ワークシート)	
二 情 報 収 集	おもちゃフェスティバルをひらこう ○おもちゃランドに招待したい人を話し合い、計画を立てる。(1) ○1年生を招待して楽しんでもらうための工夫を話し合う。(1) ・誰に何を聞いたら良いか話し合う。 ・気を付けることを教えてもらう。	・話し合いに進んで関わろうとしている。【向①】 (発言・行動観察) ・気を付けたら良いことを理解している。【分①】 (ワークシート・発言)	
整 理 分 析 ・ ま と め ・ 表 現	○情報を整理し、「おもちゃフェスティバル」の準備をする。(4) ・グループでコーナーの内容を見直す・(遊び方の説明, ルール説明の仕方など) ・1年生が楽しめるようにおもちゃを工夫する。	・自分と異なる意見を受け入れながら話し合っている。【思③】(行動観察・発言) ・体験を通して分かったことや疑問に思ったことを、自分の言葉で書いたり発表したりしている。【表①】 (ワークシート・発言・行動観察)	国語科「あそびのやくそくを話し合おう」 国語科「おもちゃ教室を開こう」
実 行	・全体の準備物(招待状, 会場の案内図など)を分担し, 準備する。 ・グループごとにやってみて, 1年生が楽しめるかどうかアドバイスをし合う。 ○おもちゃフェスティバルを開く。(2)	・1年生に進んで関わろうとしている。【向①】 (ワークシート・発言・行動観察) ・友だちの良さや楽しんでいる自分に気付いている。【思②】 ・おもちゃランドを開くための作業内容を理解している。【分①】 (ワークシート・発言) ・1年生にどんなことを伝えたら良いかを考えることができる。【分③】 (ワークシート・発言) ・自分の良さや変容について気付いている。【向②】 (発言)	
振 り 返 り	ふりかえり(2) ○活動を振り返る。	・相手にどんなことを伝えるかを考えている。 (発言・ワークシート)	

9 本時の展開

(1) 本時の目標

1年生を招待して、「おもちゃフェスティバル」を楽しんでもらうための計画を話し合うことができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動と主な発問 (◎)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 前時の復習 ◎おもちゃフェスティバルを開くこ	○手作りおもちゃを楽しんで遊んだことを想起する。	

<p>とを知る。</p> <p>2 めあての確認をする。</p>	<p>○おもちゃで遊ぶことを好む学年を 考える。</p>	
<p>めあて 「おもちゃフェスティバル」の計画を立てることができる。</p>		
<p>○招待したい人たちは誰ですか。理由も考えましょう。</p> <p>◎フェスティバルを開くためには、他に何を決めたらよいか話し合いましょ。う。</p> <p>・場所・活動集団・おもちゃの種類など</p> <p>6 全体で発表する。</p> <p>◎グループでどんな考えが出たか、みんなに伝えよう。</p> <p>○意見を聞いて、付け加えたいことや計画には必要ないと思うことを発表しよう。</p>	<p>○今までの関わり方を思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校探検」や「縦割り班活動（暗号集会）」「ロング昼休憩」など ・児童会活動で、集会活動をしたことや思ったことを振り返らせる。 <p>○個人で考え、ワークシート（付箋）に書かせる。</p> <p>○付箋を貼り、班で発表し、話し合い、発表する。</p> <p>○他のグループの発表を聞き、多様な考えがあることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ考えでも発表して良いことを伝える。 <p>○板書で考えを整理する。</p>	<p>考えの可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生にどんなことを伝えるかを考えることができる。【分②】 ・付箋に自分の考を書けることができる。【表①】 <p>伝え合う力</p>
<p>7 本時のまとめをし、次時の予告を行う。</p>	<p>○次時では、本時に考えたことに沿って計画していくことを伝え、本時の学習のまとめを行う。</p>	<p>考えの可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さや変容について気付いている。【向②】
<p>8 振り返りを行う。</p>		<p>（ワークシート・発言）</p>

10 板書計画

<p>おもちゃフェスティバルを ひらこう</p>			<p>まとめ</p>
<p>（めあて）おもちゃフェスティバルの計画を立てることができる。</p> <p>しょうたいする人・・・1年生</p>			<p>ふりかえり</p>
<p>・場所 たいいくかん ・はんごとに、作るおもちゃをかえる。 ・コーナーを作る。 ・前半と後半に分ける。 ・気を付けることを、1年生の先生に聞く。</p>			